

## 第5回 光風台駅前エスカレーター代替案検討会議 会議録（概要）

日 時 平成23年11月19日（土）午後7時～午後8時47分

場 所 光風台自治会館

出席者 学識経験者 : 赤井阪大教授（会長）、猪井阪大助教（職務代理）

光風台自治会 : 水谷自治会長、倉場委員、飯田委員

新光風台自治会 : 大原自治会長、本山委員、吉岡委員

豊能町 : 鴻野建設課長、内田財政課長、木田企画政策課長

事務局 : 東浦企画政策課主幹

傍 聴 上島府議、西岡議員、高尾議員、竹谷議員、高橋議員、小寺議員、秋元議員、  
住民9名

### 【確認事項】

- ・アンケートの内容については12月の会議で決定
- ・更新費用（イニシャルコスト）は町、維持管理費（ランニングコスト）は住民負担
- ・費用負担の方法について12月の会議で決定

### 【決定事項】

- ・アンケートは1月実施、2月集計結果の方向で進める

### 【次回会議準備資料等】

- ・アンケート案

### 【次回会議の論点】

- ・受益者負担のあり方について

本日提案のあった受益者負担（ランニング経費の負担）の方法

- ① 能勢電鉄の運賃に上乗せ
- ② 一括払い（世帯単位）
- ③ 年払いで自治会費に上乗せ（世帯単位）
- ④ 寄付を募り、目標額が集まれば更新する
- ⑤ 役務の提供（監視員）
- ⑥ 役務か現金かの選択制
- ⑦ 監視員に相当する金額を受益者が負担し、メンテナンスは町が負担

以上の項目を議論し可能な方法を決定し、負担方法・額等を明確にしてアンケートを作成する

### 【会議概要】

会長 開会。

内田 アンケート案の中身についてお示しする予定であったが、住民の費用負担のあり方について議論いただき、その負担について賛成か反対かを質問するべきであろうと考え、本日まで議論いただいて、それをアンケートに記載したいという思いがあり、目次だけに

留めたものである。

アンケートの構成は、質問の前に丁寧な説明が必要と考えたものである。

第1にエスカレーターの設置から町が廃止を決めるまでの経緯

第2に検討会議の経緯で構成やこれまでの流れ

第3に新路線バスの計画で光風台を新たに走るバスについて

第4にエスカレーターの更新費用で国の交付金も含めて幅を持って書く。維持管理費用は監視員の人件費込を示す。

第5は費用負担のあり方で、議論いただいて検討会議でまとめた方法、金額を提示して質問につなげる。

質問は6問で、問1はお住まい、問2は「ご家族の中でエスカレーターとか路線バスを毎日利用している人がいますか」、問3は費用負担とその方法について、問4・5は問3の賛成、反対それぞれの人の意見や認識を確認しようとするもの、問6はエレベーターの利用について住民ニーズを確認しようというもの。

スケジュールとしては、12月にアンケートの内容が決まっていることが前提だが、1月に配布、回収、2月に集計、報告でどうかと思っている。

役割分担については、用紙作成は町が行い、配布・回収・集計・報告については自治会でやっていただけたらと思っている。

木田 新路線バスの計画という事で阪急バスから提示され、11月11日の交通特別委員会で報告しているので、参考として委員に資料の配布をする。

(阪急から提示のあった時刻表を資料として配布し、内容の説明をする)

運行実施の予定は、阪急バスからは12月20日までには運行開始したいと提示されている。路線名は豊能西線。

もしも町が阪急バスに助成をしなかった場合は、光風台は走ることなく新光風台22便、東ときわ台線22便に減便されると聞いている。

町は新光風台と東ときわ台の路線維持と、新たに光風台の運行確保に必要と判断して、今回阪急バスと1000万円で交渉をしているところである。

次にエスカレーターの費用負担について、資料の「更新・維持管理費用負担について」を説明。費用負担について町は更新費用を100%負担する。住民側は維持管理費用を100%負担するという負担方法を提示する。

現在稼働しているエスカレーターは、施設整備費用は、住民が負担（分譲価格に加算されている）して整備したものを町が維持管理経費を負担するルールとなっている。これを踏襲するのがわかりやすいと考えたが、更新費用には国の交付金が交付される可能性があるのに活用しない、又はそれが減額されることを承知で更新することは考えられない。また金額が確定しないものを住民に負担を求めるのは出来ないのではないかと考え、更新については町がやらざるを得ないというところに考えが至った。となると、住民側が負担するのは維持管理費用という提案をすることとなった。

会長 町は廃止と訴えてきた訳だが、みなさんの頑張りもあって、町は今の提案をしたという事だと思う。これを踏まえて、金額が出ているが、住民としてどう捉えるのか、実現

する制度はいろいろあると思うが、そこを含めて議論が出来ればと思う。

委員 とりあえずこの金額が多いか少ないか、払えるのか払えないのか、いったん持ち帰らせて欲しい。

委員 維持管理費は最高額をみているのではないかと思う。監視員を付けなくてはいけないという法律はないわけなので、もっと安い費用で監視できる代案を考えても良いかと思う。そうすれば住民負担も安くなり話もしやすくなる。

委員 資料1に関して、更新費用を住民が負担する場合、36,000円というのは1億2600万円を割った数字であって、国の補助金が55%出た場合、16,200円になるのではないか。

内田 国の交付金は仮に住民の皆さんが更新費用の一部を負担したら、その額を引いた額に対して55%となるので、国の交付金は減っていく仕組みである。

委員 町として、住民に対して経緯などの説明会をしなくて、アンケートで説明して、取るという姿勢なのか。文面だけで理解できる人とそうでない人がいると思う。

また、新路線バスの運行について、町報で知らせるくらいで済ませるのか。

木田 説明会の開催は考えていない。アンケートの説明文で設置から廃止までの経緯など詳しい事を読んでもらえばわかってもらえるのではないか。また、アンケートも周知の手段と考えている。

新路線は阪急バスの営業路線であるので、周知については阪急バスに依頼しておく。

委員 バスのダイヤに対して町から注文は付けられないのか。

利用者側がどの時間帯にダイヤを一番密にしてほしいか、そういうものを入れて欲しい。町が1000万円も補助されるのであれば、帰りのラッシュ時間帯に30分に1本では乗っていた人も乗らなくなる。

木田 今回助成するから、議会の交通特別委員会も要望するし、約束は出来ないが、出来る限り利用しやすいように伝える。

委員 朝は極論を言えば30分に1本で良い。夕方は15分に1本は欲しい。これを阪急バスにぶつけて欲しい。

代理 阪急バスにとっての考えは、これが一番儲けがあるから出しているのだと思う。20分に1本にしようとしたらもっとお金を積まないといけないことになると思う。

委員 バスへの助成金の1000万円の内訳を説明責任が果たせる形で示してもらいたい。

能勢電鉄にはエスカレーターの負担を求める事は出来ないのか。

受益者負担は、光風台の幹事も受益者負担やむなし、新光風台も更なる人件費の削減があればやむをえない。残すことについては共通な認識を持っている。

光風台は15%くらいの方が自治会から抜けているので自治会費から出すのは難しい、利用者に10円、20円入れていただくのも難しい。

木田 能勢電鉄に確認しましたが、光風台駅構内はバリアフリー化は既に終わっていて、エスカレーターは駅の構外であるので負担できないという返事である。

内田 受益者負担について、我々が考えているのは、このアンケートには何を幾ら誰がどのように負担するのかという事を書いて取らないと賛否は問えないと思っている。

何を幾らというのは、町の考えは維持管理費を全額という事で、誰がどのようにというところをこの会で議論いただきたいと思っている。

自治会が会費として負担する方法、利用者の方がその都度代金として払う方法については先程あったようにいずれも難しいのではないかと考えている。

委員 光風台駅を利用する人の約半数が利用するならば、能勢電鉄の料金に10円上乗せして払うのはどうか。エスカレーターを利用しない人から反対が出るかもしれないが、駅のトイレやエレベーターにしても使わないのにその分も払っているわけなので。

代理 電車では聞いたことが無いが、バスでは料金が上がったり下がったりという事はある。しかし不公平感はあると思う。個人的には徴収する一つの方法であるとは思っている。

委員 利用者から10円取ることによりどれだけ利用者が減るのかわからないし、バスが運行するとなればエスカレーターの利用も減るので財政を圧迫すると思う。そうであるならば、みなさんが協力して一括して48000円なんて怖い数字だが払ってもらって、みんなでエスカレーターを残そうという形がすっきりすると思う。

委員 個人的な意見を言うとなれば、新光風台の場合は一括は無理でも、年単位で自治会で何とか工面する方法が一番取りやすいのではないかと考える。

代理 毎年お金を集めに行くのは大変。毎年だと嫌がられると思う。

会長 本当にエスカレーターを残したいと思っている人がいれば、その人たちから寄付を集めてはどうか。公共経済学とかで言えば、便益が費用を上回っていればやるべきというのがあり、寄付の形で集めて費用に見合うだけの寄付金額が集まればやるというのは費用便益分析という事になる。

内田 監視員が要る事を前提に考えると、その費用520万円を見込んでいるが、監視員を住民の方がしていただけるならば、現金じゃなくて労働力で負担していただくという事も可能なのではと思う。

委員 新光風台の継続協議委員会でもそういう案は出ている。総論は賛成だが、各論になれば時間帯等の調整が大変で、お金で解決が良いのではなくなってしまふ。

会長 考えをミックスさせて、お金を払いたくない人は労働、労働したくない人はお金を払うという理論もある。

委員 個人的な意見だが、一括でやらなかったら無理だろうと思う。

委員 16年も此処に住んでいるという確約もないので、前負担はなかなかしんどい。

委員 住民負担が前提とした話になっているのは分かるが、自治会・住民の立場に立って考えた時に、なぜ負担しなければいけないのかということをも十分理解してもらうのが重要であり、かなり困難だと思う。負担するにしても説得性、納得性そのあたりが大変難しいと思う。

委員 町は更新の費用を負担する、維持管理は住民の方でという事だが、アンケートで住民がそうしたくないという答えが出た場合、町としての方策は無いわけか。

木田 現時点においては、そういう事になる。

委員 最終的に協力出来ないような形になった場合、1年間こうやって一生懸命話し合ってきたのに、結果的にあれはなんだったんだという事にならないようにしたい。

会長 アンケートでは何らかの負担をして下さいというものになると思うので、その結果負担して残しましょうと、またそこまでして要らないという人がほとんどであれば止まることも明記し、例えば寄付ならここまで集まらなければ廃止という事を明記したアンケートを作成ことになる。

委員 自治会に持ち帰るにしても、維持費が年間1050万円というのは非常に高すぎると思う。だから自治会が負担する金額は、今の監視員に相当する金額に絞ってもらい、残りのメンテナンス費用は町が持つというのはダメなのか。

木田 今日提示したものが町の考え。そのような意見があったという事だけは伝える。

委員 私の解釈では、検討していただくと取っても良いか。

会長 検討するかどうかも含めて、今、町の意見はこうだから、それ以上負担するなら廃止だというのが町のスタンス。これ以上のものでも以下のものでもない。

次回に向けては、町側がアンケートの説明文案を出し、費用負担のあり方について協議してアンケートを作成する事とする。

以上、午後8時47分閉会。

## 第5回 光風台駅前エスカレーター代替案検討会議

日 時 平成23年11月19日(土)  
午後7時～

場 所 光風台自治会館

### 次 第

#### 1. 開 会

#### 2. 議 題

- (1) アンケートについて
- (2) 費用負担について
- (3) その他

#### 3. 第6回会議の日程

日 時 平成23年12月10日(土) 午後7時～  
場 所 豊能町立西公民館

#### 4. 第7回会議以降の日程

日 時 平成23年 月 日(土) 午後7時～  
場 所 新光風台自治会館

### 本日の資料

- (1) 第4回 検討会議 会議録 (概要)
- (2) アンケートの目次 (案)
- (3) 更新費用及び維持管理費用の負担について

## 第4回 光風台駅前エスカレーター代替案検討会議 会議録（概要）

日 時 平成23年10月23日（日）午後5時～午後7時

場 所 新光風台自治会館

出席者 学識経験者 : 赤井阪大教授（会長）、猪井阪大助教（職務代理）

光風台自治会 : 水谷自治会長、倉場委員、飯田委員

新光風台自治会 : 大原自治会長、本山委員、吉岡委員

豊能町 : 鴻野建設課長、内田財政課長、木田企画政策課長

事務局 : 東浦企画政策課主幹

傍 聴 上島府議、西岡議員、高尾議員、竹谷議員、永並議員、高橋議員、小寺議員  
住民14名

### 【確認事項】

- ・傍聴者用資料については準備会で確認の通り10部のみ作成
- ・光風台駅降車者数調査の結果報告
- ・豊能町域内バスの再編について
- ・エスカレーターの見積
- ・社会資本整備総合交付金要綱（抄）
- ・代替案の得失（光風台、新光風台、町）

### 【決定事項】

- ・バスの運行を踏まえた上で、受益者負担を前提とした代替案のアンケート案を作成する。

### 【次回会議準備資料等】

- ・受益者負担のあり方
- ・アンケート案

### 【次回以降会議の論点】

- ・受益者負担のあり方について
- ・アンケート案について

### 【会議概要】

会長 開会。

内田 「光風台駅前調査の結果について」資料説明。

委員 光風台駅で降りた方の21年、22年、23年の調査は何曜日に行なわれたのか。

鴻野 平成21年は11月10日の火曜日で2,325人、22年は11月9日の火曜日で2,295人。能勢電は毎年調査を行い、11月の第2火曜日が一斉調査であると聞いている。町のエスカレーター調査日は、22年6月3日火曜日で1,135人、23年6月7日火曜日で1,116人。

会長 人口が何人でどれくらいの割合で利用しているか分かるか。

木田 23年3月末人口で光風台5,049人、新光風台4,381人。

会長 エスカレーターを9人に1人が使われているのをどう重くみるかである。光風台が57.7%、新光風台が42.3%でほぼ人口比例している。

木田 「バスの運行の現状と将来について」資料説明。

会長 この案はいつまで担保されるのか。

木田 今後阪急バスとの協議である。内部では3年はぐらいいは何とかしてもらいたいと考えている。

委員 バスの乗車数が低いということは、電車との接続時間の問題が大きなネックとなっている。妙見口行き直行電車が20分に1本なので、必ずバスが待っているようにすれば、採算性が向上するのではないか。利用者側の意向を検討外にして町に1200万円補償というのはあまりにも無鉄砲な数字ではないか。

木田 エスカレーターはすぐに乗れるというのは事実だが、バスの場合工夫は考えても全てすぐに乗れるという状況は考えにくいのではないか。

代理 バスの損益分岐点は幾らであるかという、20～30人の乗車で、ほぼ席が埋まった状態。

委員 光風台から東ときわ台に行く場合、光風台の停留所はどうなるのか。

木田 巡回バスで使用した前の停留所が基本で阪急バスと協議している。

委員 間違っている部分については指摘が欲しい。9月議会を傍聴して、今度バスが走るのに1200万円が年間必要で、内訳は750万円が補てん部分、450万円がバス3台購入部分であると。巡回バスが走っていた際には年間5000万円近い補助金が出ていたので、1200万円は安いなという感じがするが、社会実験の話など切り替えるべきは切り替えてやってほしいという要望がある。

木田 阪急バスの提案は1200万円である。現在金額については交渉中で、考え方を整理して住民の方にも出来るだけ分かりやすい事を目指している。

委員 住民サイドからすると、統一した説明責任を果たしてほしい。町には議員に説明するスタンスと同じようなスタンスで返してほしい。

会長 阪急バスは独占力があるので、それに対してのきちっとした説明責任が要る。

木田 巡回バスは町があくまで走らせてほしいというコミュニティバスで、年間5000万円近く払っていたが、今回は一般路線に対するものなので、きちっとした説明資料や阪急バスの置かれている状況について説明するよう申し入れている。

鴻野 「エスカレーターの見積もりについて」資料説明。

委員 エスカレーターは屋内型、屋外型、準屋外型があると思うが、見積もりの仕様は合わせたのか。

鴻野 見積条件として、現在屋外型で設置していて雨よけが付いているという条件であるので、準屋外型ということでの見積もりである。

会長 1億2千6百万円～2億3百万円と見積もりなので幅があるが、この範囲ということですね。監視人件費の必要性については。

鴻野 過去に事故例がないが、エスカレーターは角が尖っているので、監視はあった方がより安全性が担保される。

委員 エスカレーターの営業マンに確認したら、監視を置きなさいという法律はないらしい。事故が起きた際に管理責任者の責任とされるので、置いた方がベターであると。非常ボタン等で停止した際に監視員がいないと起動が出来ないという問題もある。

鴻野 「社会資本整備総合交付金交付要綱」について資料説明。

道路付属構造物であればエスカレーター、エレベーターとも交付の対象となる。

市町村の一括交付金について、24年度は見送りと決定された。

会長 傍聴席から提出された資料について私も研究しているので、私から説明する。

この資料は大阪府が作ったものなので、申請すれば条件に合うのでお金があればいけるという話だが、気をつけておかないといけないのは、国の予算が府にどれくらい振り分けられるのかということがあるので、府がこういっているのであるから、もっと重要な申請があったとしても町の優先度を高くしてくれるとは思いますが、完ぺきではないということ。

次に代替案機能得失検討表について説明願う。

委員 光風台は委員3人の意見を列記したもの。

委員 新光風台は委員3人と継続協議委員会を持ち寄りまとめたもの。

木田 町側は施設の持っている機能の得失を示したもの。

会長 受益者負担をしてでも継続したいという意向なのか、雰囲気などはいかがなものか。

委員 光風台は幹事会で報告しているが、今の段階で利用者負担の何が一番好ましいかは出ていない。光風台と新光風台が同じアンケートを、バスが具体的な状況になった段階で取るべきではないか。

委員 新光風台はバスに替えるというのは全く反対で、バスとエスカレーターを並立の形が基本方針。エスカレーター設置の歴史的経緯から見ても、使用者の受益負担をゼロにするわけにはいかず、応分の負担は覚悟しなければならないが、どういう形で負担するのか等の詳細は自治会総会に諮り決定するという結論である。

木田 現時点においては26年度中でエスカレーターは廃止するという基本方針であるが、町長が地元の方と協議を行ない、代替案として何が一番将来に向かって適切なのか、財政状況は悪化するであろうから住民負担もお願いしたいという2点の議論を深めたい。

委員 エスカレーターを残すについての受益者負担はやぶさかではない。最初は国からの補助金はゼロからスタートしたが、55%出るということで情勢が変わるわけで、受益者負担についても、町の財政負担についても相当緩和され、何とか歩み寄れる線まで持っていけるのではないか。

委員 議論するにしても地域背景が違うので難しい。アンケートを実施するにしてもバスの事を踏まえた上で実施しないといけない。

会長 住民アンケートを取って、それを踏まえてより詳細にどうするのか、受益者負担の割合をどこまでと決めて、どういった案でやって行くのかを考えていくという形を取る。アンケートはなるべく早い方が良いと思うが、取るということによろしいか。

委員 アンケートの中味の議論が必要。

委員 具体性が無いと出せない。

委員 1月早々にはやらないといけない。

会長 決まったのを聞く訳に行かないので、アンケートは町の負担、住民の負担がどれくらいであるのかというのを、いくつかパターンを考えながら取るような形となるかもしれない。アンケートの結果がすべてではないので、住民の意向がこうなので、この会議としてはこういう結論を示すという形で良いのではないか。

委員 町がたたき台を作ってくれるということか。我々がすれば残すというアンケートになる。

会長 非公式に集まってもらい協議してもらうのが良いのではないか。

内田 町の方でアンケートのたたき台を作ろうと思えば、金額の書き方をどうするのか。見積もりに開きがあり、負担額も幅がうんと出る。

会長 個人的な意見だが、住民にはある程度明確な数字を示した方が良いと思う。ある程度金額がぶれた場合は行政が負担する形で、見えている金額で提示した方がまとまりやすいかなと思う。

内田 今やるなら幅のあるままでないと仕方がない。また、イニシャルかランニングかの議論が必要。

会長 ランニングの方が住民は見えやすいのかなと。イニシャルとしても、ぶれないイニシャルの一部分かなと。次回までに何回か相談してもらい、次回にアンケート案を出していただければと。

委員 新光風台の対話集会で町長が社会実験バスの乗車率が30%を切れば廃止するので、新光風台の路線バスも30%を切るようなことがあれば廃止がありうると説明された。そのリスクも考えて、バスだけでいいという考えは避けなければならない。

木田 今回の阪急バスに対する助成については明確な基準が必要なので、その路線についても収支率50%を超えておいてほしいという思いがある。見直しの基準として、いつまでも助成は出来ない、利用がある路線でないといけないという思いから町長はそういったと思う。

委員 次回この話が分からないと出来ない議論と思うが、全体予算で、例えばイニシャルコストを我々が負担しなければならないのか、ランニングコストを負担しなければならないのか、その何%を住民側が負担しないといけないのかというたたき台は持ってきてくれるのか。

委員 次はどれくらい受益者負担すればエスカレーターの存続を考えるというのを町から提示していただけるのか。

内田 宿題で持ち帰る。

委員 確認だが、アンケートは町がたたき台を作ってくれるのか。

会長 何度か寄ってもらわないといきなりは難しいかと。

委員 そうなれば先生方にも入っていただいた中で議論したものを、この場でオープンという形にしないと、やらないとまた喧々諤々になる可能性があるので協力いただきたい。

会長 調整しましょう。12月の日程は、12月10日(土)19時~光風台自治会館で。

午後7時閉会。

## アンケートの目次（案）

### 【説明】

- 1 エスカレーターの設置から廃止発表までの経緯
- 2 検討会議の経緯
- 3 新路線バスの計画
- 4 エスカレーターの更新費用、国の交付金、維持管理費
- 5 費用負担のあり方  
検討会議でまとめた方法を提示

### 【質問】

- Q 1 住まい
- Q 2 エスカレーター・新路線バスの利用状況
- Q 3 上記5の方法に対する賛否
- Q 4 （Q 3で賛成の人に）上記5の方法に協力する意思の有無
- Q 5 （Q 3で反対の人に）費用負担のあり方への意見・認識
- Q 6 エレベーターが代替案になる可能性

#### スケジュール

1月	_____
2月	_____
3月	_____

#### 役割分担

用紙作成	_____
配布、回収	_____
集計、報告	_____

## 更新・維持管理費用負担について【検討資料】

基礎数値			
更新費用	126,000,000	円	←(見積りの最低額を採用)
〃 国交付金55%	69,300,000	円	
〃 町単費	56,700,000	円	
維持管理費 年間	10,500,000	円	←(監視員ありの額を採用)
維持管理費 16年間	168,000,000	円	
世帯数 光風台	2,000	世帯	
世帯数 新光風台	1,500	世帯	
人口 光風台	5,000	人	
人口 新光風台	4,300	人	
ES利用者 1日	1,130	人	
ES耐用年数	16	年	

## 1. 更新費用の全額を住民が負担する場合

負担する者	1ヶ月	1年	一括	
全世帯(1世帯当たり)	188	2,250	36,000	円
地域住民全員(1人当たり)	71	847	13,548	円
利用者(1人当たり)	581	6,969	111,504	円

## 2. 維持管理費の全額を住民が負担する場合

負担する者	1ヶ月	1年	一括	
全世帯(1世帯当たり)	250	3,000	48,000	円
地域住民全員(1人当たり)	94	1,129	18,065	円
利用者(1人当たり)	774	9,292	148,673	円